

札幌の冬の魅力、
子どもたちに届けましょう!

雪学習 NEWS

札幌市内
小学校
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的に届けます。

No.20

札幌 大イベント 雪まつり

みんなが知っている雪まつり。今年で記念すべき第70回でした。毎年行われているので、なんでも知っているようですが、まだまだ知らない秘密がいっぱい。今回は雪まつりの裏側を潜入します。

札幌には、たくさんのイベントがあります。雪まつりやオータムフェスト、YOSAKOIソーランなど。その中でも来場者が多いのが雪まつりです。今年の雪まつりでは、大通会場に8日間で約190万人が来場しました。2番目に多かったのは、オータムフェストで16日間で180万人。その人気の雪まつりのあまり知られていない、雪まつり前と、雪まつり後に注目しました。どんな秘密が隠されているのでしょうか。

雪まつり

雪まつりのソノサキ!

雪まつりの後、あの大量の雪はどうなっているか知っていますか?今回は、雪まつりの雪像等で使われた雪のソノサキ!を追うため、札幌市経済観光局観光・MICE推進部の大内賢一郎さんにインタビューしました。



大内 賢一郎さん

ソノサキ!

数年前まで、大通公園会場の雪まつりの後は、8月に排雪するまで何も使われずに置いたままでした。しかし近年では「ウィンタースポーツフェスティバル」の会場設営のために、その雪が使われています。オリンピック招致を目指している札幌市が冬のスポーツ大会を行うアピールのためにも、雪まつりで使われている雪を活用しています。その後は、4月の中旬までには大通公園には一切雪がないようにしています。

なんと、雪まつりで使われていた雪は、その後のイベントにも生かされていたのです。それだけではなく、冬のオリンピックの招致のためにも一役買っているんですね。他にも夏に活用されることが多い、雪冷房システムにも使用されているようです。さらに、雪まつりの雪像は、いつ崩されているのか尋ねました。雪まつり直後のソノサキ!は?



ソノサキ!

大雪像は開催終了の翌日に解体します。最近では、大雪像が壊されるその迫力と儂さから、観覧に来る観光客が多くいらっしゃいます。そこで、昨年2月に初めて観覧スペースを設け、好評を博しました。ただ、観客の安全確保や大雪像スポンサーの理解等が課題となり、今回は見学スペースを設けられませんでした。

雪像解体を見学できる「解体式」の様子(昨年)



← 今年の解体の様子

札幌に住んでいてもあまり雪まつりのソノサキ!を知らない方も多かったと思います。来年の雪まつりでは、雪像のソノサキ!も意識しながら雪像を観ると、また違った感じ方ができるかもしれませんよ。



なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～
実物投影機で大きく映そう!!



❄️ 雪像作りで使われている道具



これは何をする道具でしょう?

①



答え



雪のかたまりをけずって、雪像を作るのに使います。図工の彫刻刀のような役割です。

【名前:ケレン棒】

②



答え



雪を雪像に塗ったり、表面を滑らかにしたりするのに使います。

【名前:コテ】

Q&A

Q. 除雪車を運転している人は夏は何をしているの?

A. 冬に除雪車を運転している人は、夏には道路や公園などの工事現場で機械を運転していたり、中には農家をしていたりする人もいます。



※写真はイメージです。

授業をサポートする資料は、ここ!

このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

札幌雪学習 🔍 検索

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!